

## 平成16年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 1 平成16年9月1日報告分以降、報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤88件、血漿分画製剤7件である。  
輸血用血液製剤の内訳は、

(1) B型肝炎報告事例：	45
(2) C型肝炎報告事例：	26
(3) HIV感染報告例：	0
(4) その他の感染症報告例：	17
  
- 2 B型肝炎報告事例
  - (1) 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）が陽転した事例は39例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は2例及び輸血後NAT検体なし2例）。
  - (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は5例ある。
  - (3) 輸血後に死亡（原疾患による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は2例（劇症化例含む。）である。
  
- 3 C型肝炎報告事例
  - (1) 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）で陽転した事例は25例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は10例及び検体なし1例）。
  - (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
  - (3) 輸血後に死亡したとの報告を受けた事例は1例。
  
- 4 HIV感染報告事例  
HIV感染報告事例は0例である。
  
- 5 その他感染症報告事例
  - (1) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例である。
  - (2) E型肝炎感染事例は2例である。別紙
  - (3) パルボウイルス感染及びヘルペスウイルス感染事例については、献血者の保管献体のNATは陰性である。
  - (4) 輸血後に死亡（原疾患による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例である。
  
- 6 血漿分画製剤での報告事例
  - (1) 前回報告の3例のうち、タココンブ、人血清アルブミンの2例は、調査の結果、タココンブについては、

投与患者においてHCV陰性、人血清アルブミンについては、原料血漿及び製品ロットのNAT再検査結果について調査中である。なお、タココンブは、他の血漿分画製剤との併用、人血清アルブミンは他の分画製剤及び輸血用製剤併用例であり、他の分画製剤及び輸血用血液製剤側からも感染症報告も提出されている。

また、前回報告3例のうち1例のpH4処理免疫グロブリンは、投与との関係なしとして報告が主治医により取り下げられた。

- (2) 新規5例については、うち2例が上記タココンブと同一症例の併用例、1例が上記人血清アルブミンと同一の患者の症例であった。残り2例については、1例は調査中、もう1例は原料血漿及び製品のNAT陰性、ウイルスクリアランスも確認している。

輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	登録番号	FAX受付日	報告受理日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
3-04198	A-04000181	2004/9/7	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍、消化器腫瘍	B型肝炎	04/06-07	HBsAg(-)	HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAb(-) HBsAb(-) (1) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAb(+)	陽性	陰性			6単位 5単位	0/5	5本の原料血漿を製造、全て確保済み。	
3-04203	A-04000192	2004/9/10	2004/9/24	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液	女	30	血液腫瘍、生殖系疾患	B型肝炎	04/06	HBsAg(-)	HBsAg(+)(1) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+)	陽性	陰性			4単位 40単位	0/6	7本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造、確保済み。	
3-04206	A-04000195	2004/9/10	2004/9/24	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	20	血液腫瘍	B型肝炎	03/12-04/07	HBsAg(-) HBsAb(-)	HBsAg(-) HBsAb(+)(1) HBsAg(+) HBsAb(-)(2)	陽性	陽性(1) 陰性(34)		陽性となった輸血用血液と同一採血番号の原料血漿1本は確保済み。新鮮凍結血漿1本は医療機関で使用済み。新鮮凍結血漿の輸血を受けた患者は原疾患(肝硬変及び肝癌)で死亡(2/18)。医療機関報告あり72493	8単位 16単位 210単位	20/35	33本の原料血漿、7本の新鮮凍結血漿を製造、原料血漿は32本確保済み。	原料血漿の1本は使用済み、新鮮凍結血漿は全て医療機関で使用済み。
3-04207	A-04000196	2004/9/13	2004/9/24	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	80	消化器疾患	B型肝炎 C型肝炎	04/06	HBsAg(-) HCV-Ab(-)	HBsAg(+) HCV-Ab(+)	検体なし	陰性		C型肝炎抗体も陽転	40単位	0/4	4本の原料血漿を製造、全て確保済み。	
3-04208	A-04000197	2004/9/14	2004/9/24	人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿	男	50	消化器悪性腫瘍	B型肝炎	98/08	HBsAg(-)	HBsAg(+)(1) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(-)(2)	陽性	陰性			14単位 14単位	13/14	8本の原料血漿、9本の新鮮凍結血漿、7本の赤血球MAPを製造、原料血漿は全て使用済み、FFFP及び赤血球は医療機関へ供給済み。	
3-04210	A-04000206	2004/9/17	2004/9/29	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	40	血液腫瘍	B型肝炎	03/11-03/12	HBsAg(-)	HBsAg(+)	輸血前不明 輸血後陽性	陰性			80単位 4単位	5/10	10本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造、原料血漿は全て使用済み、新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。	
3-04211	A-04000207	2004/9/17	2004/9/29	白血球除去人赤血球浮遊液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	03/02-05	HBsAg(-)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-)	陽性(輸血後)	陰性			2単位 4単位 100単位	9/13	13本の原料血漿を製造、全て使用済み。	
3-04216	A-04000214	2004/9/27	2004/10/12	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	<10	血液腫瘍	B型肝炎	04/03-04/09	HBsAg(-)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-)	陽性(輸血後)	陰性	ポリエチレングリコール処理免疫グロブリン		10単位 4単位 44単位 395単位	30/71	66本の原料血漿、10本の新鮮凍結血漿、22本の赤血球MAPを製造。61本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿を確保済み。	5本の原料血漿は使用済み、5本の新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
3-04217	A-04000215	2004/9/27	2004/10/12	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	50	血液疾患	B型肝炎	04/02-08	HBsAg(-) HBsAb(+) HBsAb(+)	HBsAg(-) HBsAb(+) HBsAb(+)	投与後2度目の検査で陽性化 HBV-DNA(-) (04/08) HBV-DNA(+) (04/08)	陰性			4単位 34単位 360単位	28/55	59本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿46本は確保。。	13本の原料血漿は使用済み、新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
3-04220	A-04000217	2004/9/29	2004/10/12	人血小板濃厚液	女	60	C型肝炎、肝硬変	B型肝炎	04/05	HBsAg(-)(1) HBsAg(-)(2)	HBsAg(+)	陰性(投与前、投与後)	陰性			20単位	1/2	2本の原料血漿を製造、全て確保済み。	
3-04221	A-04000218	2004/10/6	2004/10/20	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結血漿	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	04/04-10	HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(-)	HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+) HBsAg(+)	陽性(投与前は陰性)	陰性			2単位 23単位 18単位	7/22	21本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿、9本の赤血球MAPを製造。原料血漿は12本確保済み、新鮮凍結血漿は2本確保済み。	9本の原料血漿は使用済み、10本の新鮮凍結血漿、赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。

22	3-04225	A-04000222	2004/10/8	2004/10/20	人血小板濃厚液 洗浄人赤血球浮遊液 人赤血球濃厚液	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	03/10-04/02	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAg(-)(1) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(+)(2)	陽性	陽性(1) 陰性(32)		PreS/S領域を含むP領域の前 半部の1550bpの塩基配列を比 較した結果3カ所を除き一致。献 血者と患者のHBVはともにGeno typeCで塩基配列からSubtype はadwと推定された。(別紙)	180単位 12単位 18単位	22/33	34本の原料血漿、 10本の新鮮凍結 血漿を製造。原料 血漿は15本確保 済み。	19本の原料血漿は 使用済み、10本の 新鮮凍結血漿は全 て医療機関へ供給 済み。
	3-04228	A-04000224	2004/10/13	2004/10/27	新鮮凍結人血漿	男	70	消化器腫瘍	B型肝炎	04/03	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(+)	陽性	陰性		受血者の後日の死亡に係る報告 は11月26日。また、2003/5にも 輸血症があり、被疑者として追加 された。(別紙)	10単位 26単位	14/25(20 03/5) 8/23	21本の原料血漿、 6本の新鮮凍結血 漿、22本の赤血球 MAPを製造。(200 3/5) 12本の原 料血漿、10本の 新鮮凍結血漿、23 本の赤血球MAPを 製造。原料血漿は2 本確保済み。	21本の原料血漿は 全て使用済み、新 鮮凍結血漿、赤血 球MAPは全て医療 機関へ供給済み。 (2003/5) 原料 血漿は10本は使用 済み、新鮮凍結血 漿、赤血球MAPは 全て医療機関へ供 給済み。
	3-04236	A-04000232	2004/10/20	2004/11/2	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/06-04/08	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	陽性(輸血後)	陰性			30単位	2/3	3本の原料血漿を 製造、確保済み。	
	3-04240	A-04000236	2004/11/1	2004/11/10	人赤血球濃厚液(放射線照射) 白血球除去人赤血球浮遊液(放射 線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	30	血液腫瘍	B型肝炎	02/06-02/09	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			40単位 18単位 265単位	46/55	55本の原料血漿、 11本の新鮮凍結血 漿を製造。原料血 漿は使用済み新鮮 凍結血漿は全て医 療機関へ供給済 み。	
	3-04241	A-04000237	2004/11/1	2004/11/16	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	50	血液疾患	B型肝炎	02/12	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+)	陽性(輸血後)	陰性			40単位 4単位	5/6	6本の原料血漿を 製造、すべて使用 済み。	
	3-04242	A-04000238	2004/11/2	2004/11/16	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	多発性骨腫瘍	B型肝炎	03/05	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-)(1) HBsAg(+)(2)	陽性(輸血後)	陰性			40単位	4/4	3本の原料血漿を 製造、すべて使用 済み。	
	3-04243	A-04000239	2004/11/4	2004/11/16	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	B型肝炎	04/03	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			40単位 10単位	14/33	21本の原料血漿、 13本の新鮮凍結 血漿、26本の赤血 球MAPを製造。原 料血漿は7本確保 済み。	原料血漿は14本使 用済み、新鮮凍結 血漿及び赤血球 MAPは全て医療機 関に供給済み。
	3-04244	A-04000240	2004/11/5	2004/11/16	人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	03/10-04/06	HBsAg(-)(1) HBsAb(-) HBcAb(-)(2) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HCV-Ab(-)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	乾燥スル化人 免疫グロブリン		95単位 12単位	12/16	16本の原料血漿、 5本の新鮮凍結血 漿を製造。原料血 漿は11本確保済 み。	5本の原料血漿は 使用済み、新鮮凍 結血漿全て医療機 関に供給済み。
	3-04246	A-04000241	2004/11/9	2004/11/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	40	骨折	B型肝炎	02/08	HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+)(2)	陰性(輸血後)	陰性			2単位	0/1	1本の原料血漿、1 本の新鮮凍結血 漿。原料血漿は全 て使用済み、新鮮 凍結血漿全て医療 機関に供給済み。	
	3-04247	A-04000242	2004/11/9	2004/11/22	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	03/5-03/6	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)	陽性(輸血後)	陰性	ポリエチレングリ コール処理人免 疫グロブリン		70単位 2単位	5/7	7本の原料血漿、1 本の新鮮凍結血漿 を製造。原料血漿 は全て使用済みで 、新鮮凍結血漿は 医療機関へ供給 済み。	
	3-04250	A-04000246	2004/11/12	2004/11/26	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	04/1	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)	陽性(輸血後)	陰性			10単位	1/1	1本の原料血漿製 造。原料血漿は使 用済み。	
	3-04251	A-04000245	2004/11/12	2004/11/26	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液	男	30	血液腫瘍	B型肝炎	03/9-04/9	HBsAg(-) HCV-Ab(-) HBsAg(+) HCV-Ab(-)(1) HBsAg(-) HCV-Ab(-) HBcAb(+)(2)	陽性(輸血後)	陰性		pH4処理陰性人 免疫グロブリン	90単位 780単位	76/121	119本の原料血 漿、27本の新鮮凍 結血漿を製造。原 料血漿は72本確保 済みで、新鮮凍結 血漿は18本医療機 関へ供給済みで、1 本は未使用。	原料血漿は47本使 用済み。新鮮凍結 血漿は18本医療機 関へ供給済みで、1 本は未使用。

3-04252	A-04000247	2004/11/16	2004/11/26	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器癌	B型肝炎	04/8-9	HBsAg(-)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)(1) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)(2)	陰性(輸血後 04/09)陽性(輸 血後04/11)	陰性			5単位	0/3	3本の原料血漿製 造、原料血漿は全 て確保済み。	
3-04253	A-04000248	2004/11/17	2004/12/1	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍、呼吸器疾患	B型肝炎	04/3-9	HBsAg(-)	HBsAg(+)(1) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-)(2)	陽性(輸血後)	陰性			4単位 2単位	0/3	2本の原料血漿、3 本の新鮮凍結血漿 製造、原料、新鮮 凍結血漿は全て確 保済み。	
3-04254	A-04000250	2004/11/18	2004/12/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	女性器腫瘍	B型肝炎	04/6	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	HBsAg(+)(1) HBsAb(-) HBcAb(-)(2)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			4単位	1/2	2本の原料血漿、2 本の新鮮凍結血漿 製造、原料血漿は 全て確保済み。	新鮮凍結血漿は全 て医療機関へ供給 済み。
3-04255	A-04000251	2004/11/18	2004/12/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	80	血液腫瘍	B型肝炎	04/5	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後) (04/10) 陰性(輸血後) (04/11)	陰性			2単位	1/1	1本の原料血漿、1 本の新鮮凍結血漿 製造、原料血漿は 確保済み。	新鮮凍結血漿は全 て医療機関へ供給 済み。
3-04256	A-04000252	2004/11/18	2004/12/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	80	消火器腫瘍、C型肝炎	B型肝炎	04/3	HCV-Ab(+) HBsAg(-)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb-IgM(+) HBsAg(+) HBcAb(-)	陽性(輸血後)	陰性			4単位	1/3	3本の原料血漿、1 本の新鮮凍結血漿 製造、原料血漿は 全て確保済み。	新鮮凍結血漿は医 療機関へ供給済 み。
3-04257	A-04000253	2004/11/18	2004/12/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	40	消化器腫瘍、泌尿器疾 患	B型肝炎	04/7	HBsAg(-)(1) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	HBsAg(+)(1) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-)(2)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			8単位	0/4	4本の原料血漿、2 本の新鮮凍結血漿 製造、原料、新鮮 凍結血漿は全て確 保済み。	
3-04260	A-04000256	2004/11/24	2004/12/7	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/01-04/05	HBsAg(-)	HBsAg(+)(1) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)(2)	陽性(輸血後)	陰性(14本) 陽性(2本)			10単位 16単位 20単位 10単位	6/16	陽性となった当該輸血用血液2本 はともに照射MAP2単位で、それ ぞれ同一採番号の原料血漿、新 鮮凍結血漿が一本ずつ製造され ています。当該原料血液2本は中 間原料として使用済みであり、当 該新鮮凍結血漿2本は医療機関 へ供給されており、使用済みで す。	原料血漿は12本は 使用済み、新鮮凍 結血漿は全て医療 機関へ供給済み。
3-04263	A-04000258	2004/11/25	2004/12/9	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	30	血液腫瘍	B型肝炎	03/3-03/7	HBsAg(-)	HBcAb(+)(1) HBsAg(-) HBsAb(+)(2) HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+) HBcAb-IgM(+) HBsAg(-) HBsAb(-)(3)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性			270単位 34単位 14単位	34/45	43本の原料血漿、2 本の新鮮凍結血 漿、2本の赤血球 MAPを製造、原料 血漿は全て使用済 み、新鮮凍結血漿 、赤血球MAPは全 て供給済み。	
3-04266	A-04000261	2004/11/30	2004/12/14	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	40	血液腫瘍	B型肝炎	04/03-04/08	HBsAg(-)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)(1) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-)(2)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後) 陰性(輸血後) 陰性(04/08) 陰性(04/11)	陰性			405単位 2 8単位	27/41	43本の原料血漿、 3本の新鮮凍結血 漿1本の濃厚血小 板を製造、原料血 漿は36本確保済 み、濃厚血小片は 確保済み。	原料血漿は7本使 用済み、新鮮凍結 血漿は全て医療機 関へ供給済み。
3-04268	A-04000263	2004/11/30	2004/12/14	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 白血球除去人赤血球浮遊液 白血球除去人赤血球浮遊液(放射 線照射) 新鮮凍結血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	B型肝炎	03/12-04/02	HBsAg(-)	HBsAg(-)(1) HBsAg(+)(2) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-)(3)	陽性(輸血後)	陰性			6単位 12単位 2 単位 6 単位 36 単位 400 単位	43/71	71本の原料血漿、 9本の新鮮凍結血 漿、18本の赤血球 MAPを製造、原料 血漿は3本確保済 み。	原料血漿は68本使 用済み、新鮮凍結 血漿及び白血球 MAPは全て医療機 関へ供給済み。
3-04270	A-04000265	2004/12/3	2004/12/17	新鮮凍結血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	呼吸器疾患、消化器疾 患	B型肝炎	04/5-7	HBsAg(-)	HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+)	陽性(輸血後)	陰性			32単位 6単位	7/19	15本の原料血漿、 2本の人赤血球濃 厚液、3本の白血 球除去人赤血球、 5本の新鮮凍結血 漿を製造、原料血 漿は3本確保済 み、新鮮凍結血漿 は3本確保済み。	原料血漿は12本使 用済み、人赤血球 濃厚液、白血球除 去人赤血球は供給 済み、新鮮凍結血 漿は2本供給済み、 新鮮凍結血漿は 3本確保済み。

24

3-04275	A-04000269	2004/12/9	2004/12/22	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	30	血液腫瘍	B型肝炎	03/12	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)(1) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)(2)	陽性(輸血後)	陰性	乾燥スルホ化人 免疫グロブリン	A-04000222で供血者陽性であったため、追跡調査で判明した症例。今回の供血者はA-04000222の保管献体で献血者HBV-DNA陽性であった献血者と同一人物。また、A-04000222の保管献体と今回の患者献体の塩基配列はほぼ一致。(別紙)	10単位		1本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。
3-04276	A-04000271	2004/12/15	2004/12/29	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	血液疾患	B型肝炎	04/3	未検査	陽性	陽性		供血者は「症例:10月20日報告A-04000222でB型肝炎」において、保管献体の調査の結果、HBV-DNA陽性であった献血者と同一人物。(別紙)	10単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。	
3-04278	A-04000273	2004/12/15	2004/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	泌尿器腫瘍	B型肝炎	04/6-8	HBsAg(-)(1) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)(2)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後) (04/08) 陽性(輸血後) (04/12)	陰性			10単位 20単位	1/7	6本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造、原料血漿は全て確保済み、新鮮凍結血漿は1本確保済み。	新鮮凍結血漿2本は医療機関へ供給済み。
3-04280	A-04000275	2004/12/17	2004/12/28	人赤血球濃厚液 新鮮凍結血漿	女	<10	消化器疾患	B型肝炎	03/9-03/11	HBsAg(-) HBsAb(-)	陽性(輸血後) 陰性(その後)	陰性	人血清アルブミン		6単位 2単位	9/14	6本の原料血漿、10本の新鮮凍結血漿10本のMAPを製造。	原料血漿は全て使用済み、新鮮凍結血漿とMAPIは全て医療機関へ供給済み。
3-04283	A-04000278	2004/12/21	2005/1/4	人血小板濃厚液	男	10	血液腫瘍	B型肝炎	03/10	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	陰性(輸血後)	陽性		供血者は「症例:10月20日報告A-04000222でB型肝炎」において、保管献体の調査の結果、HBV-DNA陽性であった献血者と同一人物。(別紙)	10単位		1本の原料血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。
3-04287	A-04000281	2004/12/27	2005/1/4	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	B型肝炎	04/6-11	HBsAg(-)(1) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAg(-)(2) HBsAb(±) HBsAb(+) HBcAb(+)(3)	陰性(輸血後)				150単位 10単位			
3-04289	A-04000284	2004/12/27	2005/1/7	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	B型肝炎	04/6-7	HBsAg(-)(1) HBsAg(-)(2) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(±) HBsAb(+) HBcAb(+)(3)					18単位	6/9	9本の原料血漿、7本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は調査中、新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
3-04290	A-04000285	2004/12/28	2005/1/7	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/3-5	HBsAg(-) HBsAg(+) HBcAb(+)					45単位 6単位	5/7	7本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は調査中、新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
3-04291	A-04000286	2004/12/28	2005/1/7	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	泌尿器疾患	B型肝炎	04/7	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+)(2)					3単位	3/3	3本の原料血漿を製造。	原料血漿は調査中。
3-04198	A-04000181	2004/9/7	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍、消化器腫瘍	B型肝炎	04/08-07	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAg(+) HBcAb(+) HBsAb(-) HBsAb(-)(1) HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+)(2)	陽性(輸血後)	陰性			6単位 15単位	0/5	5本の原料血漿を製造、全て確保済み。	
3-04207	A-04000189	2004/9/13	2004/9/24	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	80	消化器疾患、敗血症	B型肝炎 C型肝炎	04/08	HBsAg(-) HCV-Ab(-)	陰性なし	陰性			40単位	0/4	4本の原料血漿を製造、全て確保済み。	

輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	登録番号	FAX受付日	報告受理日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	献血者個別NAT	献血者個別NAT	供用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血率	同一献血者製剤確保率	同一献血者製剤使用率
3-04189	A-04000172	2004/9/1	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	20	消化器疾患	C型肝炎	04/08	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陰性	陰性			4単位	1/4		4本の原料血漿を製造、全て確保済み。
3-04190	A-04000173	2004/9/1	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血清アルブミン(UNKOWNDRUG)	男	70	呼吸器腫瘍	C型肝炎	04/03-04/07	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(-) (1) HCV-Ab(-) (2) HCV-Ab(+)(3)	陰性	陰性			13単位 50ml	0/7		3本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造、確保済み。
3-04193	A-04000176	2004/9/3	2004/9/13	人赤血球濃厚液	男	70	消化器腫瘍	C型肝炎	02/09	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	検体なし	陰性			6単位	2/3		3本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造、原料血漿は全て使用済み、FFPは全て医療機関へ供給済み。
3-04195	A-04000178	2004/9/7	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	脳神経疾患	C型肝炎	02/05	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陰性	陰性			4単位	1/2		2本の原料血漿を製造し、使用済み。
3-04196	A-04000179	2004/9/7	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	心疾患	C型肝炎	04/02	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性(2004/07)	陰性			8単位	2/5		5本の原料血漿を製造、全て確保済み。
3-04200	A-04000184	2004/9/9	2004/9/21	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	10	骨折	C型肝炎	03/02	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性	陰性			6単位	1/4		4本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造、原料血漿は全て使用済み、FFPは全て医療機関へ供給済み。
3-04205	A-04000194	2004/9/10	2004/9/24	人赤血球濃厚液	男	90	消化器腫瘍	C型肝炎	04/08	HCV-Ab(-) HCV-RNA(-)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+)	陽性	陰性		三人のうち二人は再来適合。一人は呼び出し検査で陰性	6単位	2/3		2本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造、確保済み。
3-04222	A-04000219	2004/10/8	2004/10/20	新鮮凍結人血漿	男	30	B型肝炎	C型肝炎	03/04	HBV-DNA(+) HCV-RNA(-) (1) HBsAg(+) HCV-Ab(-) (2)	HBsAg(+) HCV-Ab(+)	HCV-RNA陽性 (2004/9)	陰性			12単位	5/6		原料血症は全て使用済み。新鮮凍結血漿及び赤血球MAPは全て医療機関へ提供済み。
3-04229	A-04000225	2004/10/13	2004/10/27	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 凝固イセパマイシン	女	90	呼吸器疾患	C型肝炎	04/08	HCV-Ab(+)	HCV-Ab(+)	陰性	陰性			2単位 10単位 2バイアル	0/2		2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造、全て確保済み。
3-04231	A-04000226	2004/10/13	2004/10/27	人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿	男	40	消化器疾患	C型肝炎	01/11	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陰性	陰性			6単位 8単位	4/7		7本の原料血漿、4本の赤血球MAPを製造。原料血漿は全て使用済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
3-04234	A-04000230	2004/10/19	2004/11/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	40	代謝疾患、泌尿器疾患	C型肝炎	03/11-04/01	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性	陰性			16単位	2/11		9本の原料血漿、9本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
3-04237	A-04000233	2004/10/20	2004/11/2	人赤血球濃厚液	男	30	交通事故	C型肝炎	04/09	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			13単位	0/7		4本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿を製造、全て確保済み。

26

3-04239	A-04000235	2004/10/27	2004/11/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	呼吸器疾患	C型肝炎	04/08	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陰性	陰性	4単位	0/2	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿と新鮮凍結血漿は全て確保済み。
3-04258	A-04000254	2004/11/19	2004/12/2	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	50	消化器腫瘍	C型肝炎	04/10	HBsAg(-) HBsAb(+) HCV-Ab(-)	HBsAg(-) HBsAb(+) HCV-Ab(+)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	4単位 6単位	0/5	5本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料、新鮮凍結血漿は全て確保済み。
3-04259	A-04000255	2004/11/22	2004/12/2	新鮮凍結人血漿	男	60	泌尿器疾患	C型肝炎	04/08	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(-) (1) HCV-Ab(+)(2)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	30単位	5/6	同一採血番号の製剤なし
3-04264	A-04000259	2004/11/28	2004/12/8	人赤血球濃厚液	女	60	消化器疾患	C型肝炎	03/9	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性(輸血後)	陰性	6単位	0/3	3本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。
3-04266	A-04000262	2004/11/30	2004/12/14	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	C型肝炎	04/07	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性(輸血後)	陰性	100単位	5/7	6本の原料血漿を製造。全て確保済み。
3-04272	A-04000267	2004/12/7	2004/12/17	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	30	自己免疫性肝炎、B型肝炎キャリア	C型肝炎	04/08	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	10単位	1/1	1本の原料血漿を製造。確保済み。
3-04274	A-04000268	2004/12/9	2004/12/22	人赤血球濃厚液	女	60	呼吸器腫瘍	C型肝炎	04/08	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)			4単位	3/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。
3-04277	A-04000272	2004/12/15	2004/12/28	人赤血球濃厚液	女	90	骨折、貧血	C型肝炎	04/11	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陰性(輸血後)	陰性	2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。
3-04284	A-04000282	2004/12/21	2005/1/4	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器疾患	C型肝炎	04/5	未検査	HCV-Ab(-)(1) HCV-Ab(+)(2)	陰性(輸血後)	陰性	6単位	1/3	3本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。
3-04285	A-04000279	2004/12/22	2005/1/4	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	呼吸器疾患	C型肝炎	04/8-9	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陰性(輸血後)	陰性	6単位	0/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。
3-04286	A-04000280	2004/12/22	2005/1/4	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	消化器腫瘍	C型肝炎	04/8	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)			4単位		2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。
3-04288	A-04000283	2004/12/27	2005/1/7	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結血漿	男	50	呼吸器疾患	C型肝炎	04/7	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性(輸血後)		4単位 4単位	1/4	4本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿、2本のMAPを製造。
3-04292	A-04000287	2004/12/28	2005/1/7	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	消化器腫瘍	C型肝炎	03/8-9	HCV-Ab(-)	HCV-RNA(+) (1) HCV-Ab(+)(2)	陽性(輸血後)		8単位	0/4	4本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。
3-04293	A-04000288	2004/12/28	2005/1/7	人赤血球濃厚液 新鮮凍結血漿 血小板濃厚液(放射線照射)	人女	60	若年性関節炎、サイトメガロウイルス肺炎	C型肝炎	04/6-8	HCV-Ab(-)	HCV-RNA(+)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	22単位 6単位 20単位	1/20 5/21	19本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿、7本のMAPを製造。原料血漿は10本使用済み、新鮮凍結血漿は医療機関へ3本供給済み、赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。

輸血によるHEV感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	製剤番号	FAX受付日	報告受付日	患者 性別	年代	原疾患	感染経路	検査年月	検査機関(年月)	検査機関(年月)	検査機関(年月)	検査項目 HAT NAT	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果
------	------	--------	-------	----------	----	-----	------	------	----------	----------	----------	--------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------



3-04227	A-04000223	2004/10/B	2004/10/20	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	E型肝炎	04/09	HEV-RNA(-) (04/08)	HEV-RNA(-) (04/09) HEV-RNA(+) (04/10) HEVAb-IgG (+)(04/10)	陽性(04/10)陰 性(04/12)	陽性			10単位	1本の原料血漿、 を製造。原料血漿 は確保済み。
3-04271	A-04000268	2004/12/3	2004/12/17	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液	男	20	血液腫瘍	E型肝炎	99-00			陽性(輸血後)		別紙			

輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	登録番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再感染血漿	同一供血者製剤除染※	同一供血者製剤使用※
3-04192	A-04000175	2004/9/3	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	細菌感染	04/08			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	無菌試験適合			2単位		1本の原料血漿を製造、確保済み。	
3-04191	A-04000174	2004/9/7	2004/9/13	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	80	血液疾患	細菌感染	04/09			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	無菌試験適合			10単位		1本の原料血漿を製造、確保済み。	
3-04197	A-04000180	2004/9/7	2004/9/13	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	30	血液腫瘍	細菌感染	04/09			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	無菌試験適合	骨髄移植		10単位		1本の原料血漿を製造、全て確保済み。	
3-04199	A-04000183	2004/9/8	2004/9/21	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	消化器腫瘍	細菌感染	04/09			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性	無菌試験適合		敗血症性ショックによる死亡との主治医の報告。輸血後の患者血液からは菌は検出されていない。	2単位		1本の原料血漿を1本の新鮮凍結血漿を製造、確保済み。	
3-04215	A-04000211	2004/9/24	2004/9/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	婦人科腫瘍	細菌感染	04/09		セラチア菌検出	抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	同一採血番号の血漿3本で無菌試験を実施、適合			6単位		3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造、全て確保済み。	
3-04219	A-04000216	2004/9/27	2004/10/12	人赤血球濃厚液	女	40	消化器腫瘍、生殖器腫瘍	細菌感染	04/09			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	同一採血番号の血漿1本で無菌試験を実施、適合			4単位		2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造、全て確保済み。	
3-04224	A-04000221	2004/10/8	2004/10/20	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	細菌感染	04/10			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	無菌試験適合			10単位		1本の原料血漿を製造、確保済み。	
3-04232	A-04000227	2004/10/13	2004/10/27	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	呼吸器腫瘍	細菌感染	04/09		Candida glabrata	抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	同一採血番号の血漿及び当該輸血用血液製剤(セグメント)で無菌試験を実施、適合		患者は平成16年10月28日原疾患(肺ガン)で死亡。なお、担当医は輸血との関連性はなしとのこと。		1本の原料血漿を製造、確保済み。		
3-04233	A-04000228	2004/10/14	2004/10/27	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍	細菌感染	04/10			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	当該輸血用血液製剤で無菌試験を実施、適合			2単位		1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造、全て確保済み。	
3-04238	A-04000234	2004/10/27	2004/11/10	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液	男	80	循環器疾患	細菌感染	04/10		陰性	抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	同一採血番号の血漿9本で無菌試験を実施、適合	ヘパリンナトリウム		2単位 6単位 8単位		7本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿、3本の赤血球MAPを製造。原料血漿と新鮮凍結血漿は全て確保済み。	3本の赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
3-04248	A-04000243	2004/11/11	2004/11/22	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	50	血液疾患	細菌感染	04/11			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	当該血小板製剤及び同一採血番号の血漿で無菌試験を実施、適合	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン		20単位		2本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。	
3-04261	A-04000257	2004/11/25	2004/12/9	人赤血球濃厚液	女	<10	循環器疾患	菌血症	04/11			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	当該製剤及び同一採血番号の血漿で無菌試験を実施、適合			1単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。	
3-04269	A-04000264	2004/12/1	2004/12/14	人赤血球濃厚液	男	70	血液腫瘍	細菌感染	04/11			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	当該製剤及び同一採血番号の血漿で無菌試験を実施、適合			4単位		2本の原料血漿を製造、全て確保済み。	
3-04279	A-04000274	2004/12/16	2004/12/28	人赤血球濃厚液	男	80	消化器疾患	細菌感染	04/12			抗血漿タンパク質抗体検査:陰性、血漿タンパク質欠損検査:欠損無し	無菌試験適合			2単位			

輸血によるその他ウイルス感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	登録番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	授与年月	授与前検査(年月)	授与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
3-04194	A-04000177	2004/9/6	2004/9/13	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 白血球除去人赤血球浮遊液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	パルボウイルス感染	03/07	検査値なし	B19-Ab(IgM)(-) B19-Ab(IgG)(-)	パルボウイルス B19-DNA陽性	陰性	血液幹細胞移植		2単位 2単位 30単位 2単位	7/7		7本の原料血漿を製造、全て使用済み。
3-04249	A-04000244	2004/11/12	2004/11/26	人赤血球濃厚液(放射線照射) 赤血球MAP 人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 新鮮凍結人血漿	男	70	心疾患	ヘルペス肺炎	04/10	HSV-IgG(+) HSV-IgM(-) HSV-DNA(-)	HSV-IgG(+) HSV-IgM(-) HSV-DNA(-)	陰性(輸血後)	陰性			12単位 10単位 35単位 20単位 30単位		11本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿製造。原料血漿は調査中。新鮮凍結血漿は確保済み。	



登録番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名 (感染疑いを含む。)	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	受血者個別 NAT	原料血漿・ 製品NAT検査 (再検査・ 製造時検査 の別)	併用血液製剤等	備考
A-04000024	2004/04/15	2004/8/19	人血清アルブミン	女	<10	消化器疾患	C型肝炎	02/05	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(-) (投与後第1回) HCV-Ab(+) (投与後第2回)		同一ロット 保存サンプル NAT陰性		MAP血を2002/08に使用。 MAP使用時の患者NAT (+)
A-04000045		2004/05/07	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン(併用:乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	男	70	開放骨折他	C型肝炎	03/08	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性	陰性(原血漿、製品)	A04000082と同一症例	ミニプールNAT及び製品NATすべて陰性。ウイルスクリアランス指数は9以上。医療機関を調査したが、感染経路は十分解明されて
A-04000082	2004/06/02	2004/06/11	乾燥スルホ化人免疫グロブリン(併用:乾燥抗破傷風人免疫グロブリン)	男	70	開放骨折他	C型肝炎	03/08	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	陽性	陰性(原血漿、製品)	A04000045と同一症例	ミニプールNAT及び製品NATすべて陰性。ウイルスクリアランス指数は9以上。医療機関を調査したが、感染経路は十分解明されて
A-04000182	2004/9/2	2004/9/16	タココンブ	男	60	呼吸器腫瘍	C型肝炎	04/07	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)	2004/9HCV-RNA陰性 第三者機関の再検査において HCV-Ab(-)	原料血漿については、 陰性		患者再検査陰性であり、感染はなかったと考えられる
A-04000186	2004/9/10	2004/9/22	人血清アルブミン(併用:人赤血球濃厚液)(バクスター社製)	男	60	心疾患	C型肝炎	04/02	HCV-Ab(-) HCV-Ag(-)	HCV-Ab(+) HCV-Ag(-)	陽性	調査中	日赤3-04196と同じ他社のアルブミンも使用。他社からも報告済み	ウイルスクリアランス指数は9以上。
A-04000198	2004/9/15	2004/9/27	人血清アルブミン(併用:人赤血球濃厚液)(アベンテイス・ファーマ社製)	男	60	心疾患	C型肝炎	04/02	HCV-Ab(-) HCV-Ag(-)	HCV-Ab(+) HCV-Ag(-)		調査中	日赤3-04196と同じ他社のアルブミンも使用。他社からも報告済み	ウイルスクリアランス指数は9以上。
A-04000213	2004/10/4	2004/10/5	フィブリノゲン加第13因子	男	60	呼吸器腫瘍	C型肝炎	04/08	HCV(-)	HCV(+)	2004/9HCV-RNA陰性 第三者機関の再検査において HCV-Ab(-)		A-04000182と同一症例。タココンブ使用。	患者再検査陰性であり、感染はなかったと考えられる。

	2004/12/3		ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	女	50	感染予防	C型肝炎	2003/12/12 2003/12— 2004/02		HCV(-) (1) HCV(+) (2)		当該ロット製品及び原料血漿のNAT再検査陰性		当該ロット製品及び血漿のNAT再検査陰性。ウイルスクリアランス指数は9以上。
A-04000270	2004/12/24	2004/12/24	フィブリノゲン加第13因子 タココンブ	男	60	呼吸器腫瘍	C型肝炎	04/08	HCV(-)	HCV(+) (1) HCV(-) (2)			A-04000213と同一症例	再提出(患者再検査陰性であり、感染はなかったと考えられる)
	2004/12/27		人血清アルブミン フィブリノゲン加第13因子	女	70	心疾患、消化器疾患	C型肝炎	02/10	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(±)		調査中		調査中